



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月11日

上場会社名 日本電子株式会社

上場取引所 東

コード番号 6951 URL <http://www.ieol.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 栗原 権右衛門

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員 経営戦略室長 (氏名) 大井 泉

四半期報告書提出予定日 平成27年11月11日

配当支払開始予定日

TEL 042(543)1111

平成27年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	46,520	20.2	1,761	—	1,714	—	1,299	—
27年3月期第2四半期	38,698	0.7	△1,961	—	△1,696	—	△2,246	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 700百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 △1,403百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	13.45	—
27年3月期第2四半期	△25.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	110,285	30,908	28.0	319.85
27年3月期	115,868	30,449	26.3	315.10

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 30,908百万円 27年3月期 30,449百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
28年3月期	—	2.50	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	105,000	10.1	6,500	122.1	6,000	69.8	4,000	100.9	41.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	97,715,600 株	27年3月期	97,715,600 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期2Q	1,080,846 株	27年3月期	1,080,846 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	96,634,754 株	27年3月期2Q	96,636,154 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社および当社グループが現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、当社の取り巻く経済環境、市場の動向、為替レートの変動など、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、平成27年11月27日(金)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。第2四半期決算補足説明資料は、第2四半期決算説明会開催日後に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経済状況は、地政学的リスクの影響、中国経済の減速等の不安要素はあるものの、政府の金融施策等による円高の是正や設備投資の持ち直し等により、緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況下、当社グループは中期経営計画「Dynamic Vision」（平成25年度～平成27年度）に掲げる重点戦略を強力に推進し、企業価値の向上および経営基盤の強化を図るとともに受注・売上の確保に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は46,520百万円（前年同期比20.2%増）となりました。損益面におきましては、営業利益は1,761百万円（前年同期は営業損失1,961百万円）、経常利益は1,714百万円（前年同期は経常損失1,696百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,299百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失2,246百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 理科学・計測機器事業

電子顕微鏡への引合いは引き続き好調であり、材料・医学・生物分野における開発研究から品質管理等の幅広い分野からの要求に応えました。

この結果、当事業の売上高は29,297百万円（前年同期比 8.6%増）となりました。

② 産業機器事業

電子ビーム描画装置の売上が伸長しました。また、電子ビーム蒸着用電子銃・電源の売上は堅調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は6,046百万円（前年同期比 43.0%増）となりました。

③ 医用機器事業

国内向け生化学自動分析装置の売上は堅調に推移しました。海外はOEM供給先であるシーメンス向け新製品効果により売上が伸長しました。

この結果、当事業の売上高は11,176百万円（前年同期比 48.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末から5,583百万円減少し110,285百万円となりました。主なものとしては、受取手形及び売掛金が8,034百万円減少し、たな卸資産が5,517百万円増加しております。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末から6,042百万円減少し79,376百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が753百万円増加しましたが、短期借入金の4,064百万円減少によるものであります。

一方、当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、利益剰余金が増加したものの、その他有価証券評価差額金の減少に伴い30,908百万円となりました。以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は前連結会計年度末から1.7%増加し28.0%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、8,373百万円となり、前連結会計年度末より3,091百万円減少しております。

なお、当第2四半期連結累計期間における各活動によるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動による資金の増加は6,186百万円（前年同期は8,319百万円の資金の増加）となりました。これは主にたな卸資産の増加があったものの、売上債権の減少等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動による資金の減少は2,289百万円（前年同期は1,271百万円の資金の減少）となりました。これは主に定期預金預入による支出および固定資産の取得による支出等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動による資金の減少は7,070百万円（前年同期は5,163百万円の資金の減少）となりました。これは主に短期借入金の返済による支出等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、平成27年5月13日に公表しました業績予想に変更はございません。

なお、当社の売上・利益は第4四半期に集中する傾向があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）および「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の分配額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更および少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間および前連結会計年度については、四半期連結財務諸表および連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項（4）、連結会計基準第44－5項（4）および事業分離等会計基準第57－4項（4）に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,141	9,944
受取手形及び売掛金	29,105	21,071
商品及び製品	12,204	13,362
仕掛品	23,732	28,042
原材料及び貯蔵品	1,885	1,935
その他	5,468	5,543
貸倒引当金	△386	△338
流動資産合計	84,152	79,561
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,847	6,534
機械装置及び運搬具(純額)	678	769
工具、器具及び備品(純額)	2,595	2,473
土地	1,879	1,893
リース資産(純額)	1,741	1,541
建設仮勘定	666	123
有形固定資産合計	13,408	13,337
無形固定資産		
のれん	3,236	3,051
その他	918	842
無形固定資産合計	4,155	3,894
投資その他の資産		
投資有価証券	10,786	9,874
その他	3,353	3,552
貸倒引当金	△40	△7
投資その他の資産合計	14,099	13,419
固定資産合計	31,663	30,651
繰延資産	52	72
資産合計	115,868	110,285

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,361	20,115
短期借入金	18,822	14,757
1年内償還予定の社債	585	630
未払法人税等	633	436
賞与引当金	1,096	1,589
その他	17,539	17,337
流動負債合計	58,038	54,865
固定負債		
社債	875	2,537
長期借入金	13,292	9,274
役員退職慰労引当金	194	190
退職給付に係る負債	10,440	10,281
資産除去債務	328	329
その他	2,249	1,897
固定負債合計	27,380	24,510
負債合計	85,418	79,376
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,037	10,037
資本剰余金	9,386	9,386
利益剰余金	10,451	11,509
自己株式	△534	△534
株主資本合計	29,340	30,398
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,600	2,861
繰延ヘッジ損益	0	—
為替換算調整勘定	△447	△399
退職給付に係る調整累計額	△2,042	△1,951
その他の包括利益累計額合計	1,109	510
純資産合計	30,449	30,908
負債純資産合計	115,868	110,285

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	38,698	46,520
売上原価	25,004	28,262
売上総利益	13,693	18,258
販売費及び一般管理費		
研究開発費	2,915	3,064
その他	12,739	13,433
販売費及び一般管理費合計	15,655	16,497
営業利益又は営業損失(△)	△1,961	1,761
営業外収益		
受取利息	29	40
受取配当金	41	52
受託研究収入	50	56
持分法による投資利益	86	164
貸倒引当金戻入額	22	40
為替差益	305	—
その他	163	141
営業外収益合計	698	495
営業外費用		
支払利息	232	230
売上債権売却損	98	12
為替差損	—	237
その他	101	61
営業外費用合計	432	542
経常利益又は経常損失(△)	△1,696	1,714
特別利益		
固定資産売却益	2	2
その他	1	0
特別利益合計	3	3
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	48	5
特別損失合計	49	5
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,741	1,712
法人税、住民税及び事業税	449	557
法人税等調整額	55	△145
法人税等合計	504	412
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,246	1,299
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,246	1,299

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,246	1,299
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	682	△738
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	159	45
退職給付に係る調整額	65	91
持分法適用会社に対する持分相当額	△64	2
その他の包括利益合計	843	△599
四半期包括利益	△1,403	700
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,403	700
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,741	1,712
減価償却費	1,289	1,387
のれん償却額	184	184
賞与引当金の増減額(△は減少)	514	491
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	269	△70
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△4	△4
固定資産除売却損益(△は益)	47	2
受取利息及び受取配当金	△70	△92
支払利息	232	230
売上債権売却損	98	12
売上債権の増減額(△は増加)	16,133	8,047
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,267	△5,566
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,464	674
その他	△1,873	93
小計	9,349	7,102
利息及び配当金の受取額	76	100
利息の支払額	△227	△233
売上債権売却による支払額	△98	△12
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△780	△771
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,319	6,186
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△972
有形固定資産の取得による支出	△672	△1,126
有形固定資産の売却による収入	2	15
無形固定資産の取得による支出	△65	△129
投資有価証券の取得による支出	△551	—
その他	15	△76
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,271	△2,289
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△3,081	△6,200
長期借入れによる収入	3,000	—
長期借入金の返済による支出	△1,752	△1,881
社債の発行による収入	—	1,967
社債の償還による支出	△530	△292
自己株式の取得による支出	△2,196	—
配当金の支払額	△291	△241
その他	△310	△421
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,163	△7,070
現金及び現金同等物に係る換算差額	197	81
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,081	△3,091
現金及び現金同等物の期首残高	7,640	11,465
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,721	8,373

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	理科学・計測 機器事業	産業機器事業	医用機器事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	26,966	4,228	7,503	38,698	—	38,698
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	26,966	4,228	7,503	38,698	—	38,698
セグメント利益又は損失 (△)	△1,062	85	899	△76	△1,884	△1,961

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△1,884百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,884百万円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	理科学・計測 機器事業	産業機器事業	医用機器事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	29,297	6,046	11,176	46,520	—	46,520
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	29,297	6,046	11,176	46,520	—	46,520
セグメント利益	394	1,183	2,250	3,829	△2,068	1,761

(注) 1 セグメント利益の調整額△2,068百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,068百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。